

議案 1

2025年4月1日(火)

「2024年度活動報告」

庶務担当 成定昌昭

1、総会について

2024年度の総会は4月19日(金) TKP スター貸会議室四谷にて開催された。議案 1. 「2023年度活動報告」、議案 2. 「2023年度会計報告」、議案 3. 「2023年度会計監査報告」、議案 4. 「2024年度・2025年度役員の推薦について」、議案 5. 「2024年度活動方針」、議案 6. 「2024年度予算」について報告を行った。各議案に対しての質問、意見は無く、提示された6議案について総会を構成する会員の過半数の承認を得て、会則第10条1の規定により本総会は成立した。尚、承認者数は定期総会を構成する会員数463名の内、出席者17名、議長委任289名、会長委任8名、書面による表決101名、計415名であった。

2、基礎講座について

2024年7月12日(金) にズームのウェビナー形式で基礎講座を実施した。テーマを「採血について考える」とし、講演 1. 「当院における外来採血室運営の取り組み」を慶應義塾大学病院 外来採血室副主任 尾崎秋乃様に、講演 2. 「採血手技の基礎」を杏林大学医学部附属病院臨床検査部副技師長 米山里香様に講演して頂いた。また、製品紹介として「RFIDを活用した検体トレーサビリティの実現」をアボットジャパン合同会社 伊藤光様に講演して頂いた。2025年2月28日(金) にズームのウェビナー形式で心エコー基礎講座を実施した。第1回目は「基本断面抽出の基礎」を東京女子医科大学病院 中央検査部 高野一成技師に講演して頂いた。

スキルアップセミナーをズームのウェビナー形式で実施した。テーマは「血液検査・認定資格取得に向けて」とし3回シリーズで実施した。2024年6月14日(金) に第1回目「造血器腫瘍の細胞形態を中心とした基礎講座」を慶應義塾大学病院 臨床検査科 荒木美香技師に、2024年7月26日(金) に第2回目「凝固・線溶検査の基礎講座」を慶應義塾大学病院 臨床検査科 谷田部陽子技師に、2023年9月27日(金) に第3回目「造血器腫瘍を中心としたFCM検査、遺伝子検査の基礎講座」を慶應義塾大学病院 臨床検査科 谷田部陽子技師、近藤直美技師に講演して頂いた。

3、日本医療検査科学会共催シンポジウムについて

2024年10月6日(日)日本医療検査科学会第56回大会において共催シンポジウムを開催した。13時00分から15時00分、パシフィコ横浜第2会場にて「災害～過去から未来へどれだけの教訓が活かせるか～」をテーマとして講演を行った。講演 1. 「病院が自然災害に見舞われたとき」を埼玉医科大学病院 東洋医学科 光藤尚先生に、講演 2. 「震災に対応できる検査室を目指して」を熊本大学病院中央検査部 嶋村啓太先生に、講演 3. 「能登半島地震における日臨技リエゾン活動について」を八戸市立市民病院救命救急センター 奥沢悦子先生に、講演 4. 「臨床検査技師としての災害支援活動」を亀田総合病院 臨床検査部 太田麻衣子先生に講演して頂いた。

4、学術研修会について

2024年10月26日(土)9時30分から16時30分まで、慶應義塾大学病院大会議室にて第41回私立医科大学臨床検査技師会学術研修会を開催した。テーマは「検査結果の判読法」とした。一般演題として演題1.「4つの弁に肥厚を認めた、非細菌性血栓性心内膜炎の一例」杏林大学医学部附属病院 臨床検査部 立元香帆技師、演題2.「腹部超音波検査におけるパニック値以外で担当医へ報告すべきデータの検討」東京女子医科大学病院 中央検査部 村上由香技師、演題3.「腎移植患者に発生した重症肺炎の症例」日本大学医学部附属板橋病院 臨床検査部 青木舞技師、演題4.「BM6010G 導入時におけるバンコマイシン試薬基礎検討」東京医科大学病院 中央検査部 大曽根綾技師、演題5.「コバSc702 モジュールによるロイシンリッチ α 2グリコプロテイン測定試薬ナノピアLRGの基礎性能評価」近畿大学病院 中央臨床検査部 三原崇弘技師、演題6.「当院検査部における救急外来支援業務の再構築について」愛知医科大学病院 中央臨床検査部 大坪弘明技師、演題7.「検体検査搬送装置の更新に伴う検査室のレイアウト変更がもたらした検査業務の効率化」杏林大学医学部附属病院 臨床検査部 金子奈央技師、演題8.「当院の生理機能検査における患者対応が必要な場合の報告の運用と集計報告」獨協医科大学病院 臨床検査センター 松本浩子技師、演題9.「頸部腫脹を主訴として超音波検査を実施した1症例」東京医科大学八王子医療センター 中央検査部 藤原邦夫技師の合計9題の演題発表をおこなった。

ランチョンセミナーでは「血液検査におけるAI活用の展望と社会実装への課題」をシスメックス株式会社 岩崎陽介様に、「血液細胞分類装置の歴史とAIの現在と未来」をセラビジョン・ジャパン株式会社 土井創様に講演して頂いた。

シンポジウムでは講演1.「症例から学ぶ血液学検査」を獨協医科大学病院 臨床検査センター 新保敬技師に、講演2.「患者情報から読み解く輸血検査」を近畿大学病院 輸血・細胞治療センター 井手大輔技師に、講演3.「細菌検査の補助となりうる検査」を東海大学医学部附属八王子病院 医療安全対策部 大菅淳技師に、講演4.「電解質データからみた心電図変化~検査室で測定された電解質異常患者から心電図波形変化を探る~」を杏林大学医学部附属病院 臨床検査部 佐藤英樹技師に講演して頂いた。

特別講演として「病理診断のデジタル化と人工知能の活用」を公益財団法人 がん研究会 がん研究所病理部 高松学先生に、「凝固線溶検査:何をどのように測るのか?何がどのようにわかるのか?」を慶應義塾大学医学部 臨床検査医学教室 涌井昌俊先生に講演して頂いた。

5、会議について

Webでのオンライン会議、現地開催での理事会の会議を11回、カメラデン編集委員会を3回開催した。(詳細はホームページ参照)

6、その他

私立医科大学臨床検査技師会誌「KAMERADEN」74号を発行した。Web版カメラデンでは9月に「災害医療と臨床検査~災害時も検査を止めないために~」をオーソ・クリニカル・ダイアグノスティクス 高安恵幸様の記事として、3月に「LAL 試薬「 β グルカン シングル M30 テストワコー」と分析装置「リムセイブ MT7500」を用いた(1→3) β -D-グルカンの測定」を富士フイルム和光純薬株式会社 三木理紗子様の記事としてホームページに掲載した。

以上

議案2

2025年 4月1日

2024年度 決算報告書

自 2024年 4月 1日
至 2025年 3月31日

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算	決算額	備 考
前年度繰越金	919,090	919,090	2024年度繰越金
会費収入	1,000,000	1,076,000	538名×2000円
賛助会費収入	780,000	690,000	23社×30000円
カメラデン74号広告収入	800,000	785,000	50000円×11社、30000円×7社、25000×1社
学術研修会ランチョンセミナー協賛金	0	70,000	60000円×1社、10000円×1社
学術研修会参加費収入	70,000	18,000	9名×2000円 (非会員6名、新規会員登録3名)
カメラデン会報誌当日収入	5,000	2000	2冊×1000円
雑収入	0	0	
基礎講座参加費収入	30,000	77,500	非会員155名×500円
文献提供収入	2,000	2,361	株式会社メテオ(メディカルオンライン)
利息収入	10	679	各口座の利息
合 計(A)	3,606,100	3,640,630	

支出の部

科 目	予 算	決算額	備 考
事務管理費			
会議費	200,000	88,770	理事会会場費(現地開催1回) 2024年度総会、学術研修会
旅費、交通費、宿泊費	450,000	311,226	理事会会場費(現地開催1回) 2024年度総会、学術研修会
通信費	150,000	146,241	Zoom年会費、郵送料、振込料、パスマーケット手数料等
消耗品費	30,000	14,166	事務用品、切手等
雑費、その他	200,000	285,720	ランチョンセミナー昼食費等
事業費			
会誌 作成費(梱包発送含む)	950,000	957,000	カメラデン74号
諸謝金	100,000	10,000	依頼原稿謝礼(カメラデン74号)等
編集委員 旅費、交通費、宿泊費	400,000	131,848	編集委員会議(現地開催3回)
学術研修会 講師料	220,000	180,000	講師謝礼
学術研修会 講師交通宿泊費	100,000	0	講師交通費および宿泊費
ホームページ改定費	100,000	70,532	ホームページ管理用
2024年度総会 来賓交通費	50,000	60,000	現地開催、来賓交通費
第56回日本医療検査科学会共催費			非会員講師学会参加費、交通費等
講師謝礼	150,000	110,000	
講師交通費	100,000	128,106	
講師宿泊費	100,000	0	
講師スライド作成費	0	0	
基礎講座 講師料	0	60,000	講師3名×20000円
スキルアップセミナー 講師料	0	80,000	講師4名×20000円
記念基金積立金	200,000	200,000	50周年基金積立
予備費	106,100	0	
合 計(B)	3,606,100	2,833,609	
差引残高(A)-(B)		807,021	

私立医科大学臨床検査技師会
会計担当 大澤 健

50周年記念基金会計報告

2025年 4月1日

自 2024年4月 1日
至 2025年3月31日

収入の部

(単位:円)

科目	金額	備考
前期繰越金	1,112,100	
利息収入	383	
積立	200,000	
合計(A)	1,312,483	

支出の部

科目	金額	備考
次年度繰越金	1,312,483	
合計(B)	1,312,483	

2024年度繰越金 ¥1,312,483

私立医科大学臨床検査技師会
会計担当 大澤 健

議案 3

2024 年度 監査報告書

2025 年 4 月 4 日

私立医科大学臨床検査技師会
会長 宮城 博幸 殿

監事 谷 浩也



私立医科大学臨床検査技師会会則第 8 条 5 項の規定により、2024 年度事業の監査を、2025 年 4 月 3 日（木）に WEB 会議にて実施しましたので、下記の通り報告します。

記

2024 年度決算（2024 年 4 月 1 から 2025 年 3 月 31 日まで）について、会計報告書・金銭出納簿および関係預金通帳等の資料を慎重に精査した結果、帳簿および帳票類はよく整理されており、現金有高にも異常なく、事業とそれに伴う会計は正当に執行されていることを認めました。

以上

議案 4

2025 年 4 月 1 日

会員各位

私立医科大学臨床検査技師会
会長 宮城 博幸

2025 年度私立医科大学臨床検査技師会活動方針

我々は、会則の定めるところに従い、会員の学術知識および技術向上をはかるとともに会員相互の情報交換を深めることを目的に下記の活動を行います。また、私立医科大学中央検査部技師長会や会員施設ならびに賛助会員と連携をとり、ニーズに沿った会員満足度の高い技師会の運営を目指します。

記

※活動内容

1.2025 年度学術研修会の開催

日 時:2025 年 12 月 13 日(土)

方 式:慶応義塾大学病院 現地開催

テーマ:(仮題)「変化が求められている臨床検査室」

～先端技術とどう向き合うか?～

内 容:昨年同様、午前中は一般演題発表を行います。今年度も発表された演題の中から優秀演題賞を選定し、2026 年の総会で受賞者を表彰する予定です。

午後からは、シンポジウムと特別講演を開催します。シンポジウムは、昨年からの講演をひき継ぎ「臨床検査における AI 技術の実用化」、「生成 AI (ChatGPT 等)を利用した検査業務の効率化」等の発表を予定しています。

特別講演は、現在選定中です

2.基礎講座の充実

昨年度から引き続き「心臓超音波検査の基礎講座」の 2 回目と 3 回目を開催します。

さらに心臓超音波については、今後、中級編も開催する予定です。

また、新たな基礎講座として 6 月に「(仮)輸血検査の基礎」と内容は現時点では未定ですが 2026 年 2 月頃に講習会を開催する予定です。

開催方法は、これら講習会を全て Web 配信方式で開催します。講習会を受講するにあたり技師会会員の incentive を確保するために、昨年度から始めたパスマーケットを利用して参加費の徴収を行い、技会員の参加費は無料、非会員の参加費を有料とする予定です。

3.会誌「KAMERADEN」の発行

会誌「KAMERADEN」の発行は、秋号(11月発行;研修会抄録集合併号)のみとします。これまでの春号の内容(前年度学術研修会の特集号)や投稿・依頼原稿等についてはできるだけホームページを活用し、迅速な対応を行います。

4.ホームページの充実

賛助会員ページの充実や各種研修会の動画配信等コンテンツの充実を図ります。特に基礎講座で行った講習会の動画については、会員専用ページに期間限定で公開します。また、Web に対応した研修会の開催や会員交流ページの具現化等すべての会員が有効活用できるホームページの構築を目指します。

5.日本医療検査科学会との共催シンポジウム中止について

2024年まで6年連続で開催していた日本医療検査科学会との共催シンポジウムについてですが、当技師会としては、毎年、魅力あるテーマを選定していると自負しておりますが、開催日時が学会最終日の午後からの開始となっている点で、例年、参加人数が少ない傾向が続いています。本年度も同時間帯での開催予定である事を考慮し、理事会での協議の結果、本年度は共催シンポジウムについては見送る方向としています。

6.会議関係

会議関係は、Web (Zoom) と現地集会を併用して開催する予定です。開催回数は、理事会を9回(そのうち集会は3回)、編集委員会を6回予定しています。また、これ以外に必要な連絡についてはメーリングリスト等を活用し、フレキシブルな対応を心掛けます。

7.その他

特になし

以上

議案5

2025年 4月1日

2025年度 予算

自 2025年 4月 1日
至 2026年 3月 31日

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算	前年度実績	備 考
前年度繰越金	807,021	919,090	2024年度繰越金
会費収入	1,020,000	1,076,000	510名×2000円
賛助会費収入	600,000	690,000	20社×30000円
カメラデン75号広告収入	780,000	785,000	50000円×12社、30000円×6社
学術研修会ランチョンセミナー協賛金	50,000	70,000	50000円×1社
学術研修会参加費収入	14,000	18,000	7名×2000円
カメラデン会報誌当日収入	5,000	2000	5冊×1000円
雑収入	0	0	
基礎講座参加費収入	40,000	77,500	2回開催予定、各20000円
スキルアップセミナー参加費収入	20,000	0	1回開催予定
文献提供収入	2,000	2,361	株式会社メテオ(メディカルオンライン)
利息収入	600	679	各口座の利息
合 計(A)	3,338,621	3,640,630	

支出の部

科 目	予 算	前年度実績	備 考
事務管理費			
会費	120,000	88,770	理事会会場費(現地開催3回を想定) 学術研修会等
旅費、交通費、宿泊費	450,000	311,226	理事会10回(現地開催3回を想定) 学術研修会等
通信費	150,000	146,241	Zoom年会費、郵送料、振込料、パスマーケット手数料等
消耗品費	30,000	14,166	事務用品、切手等
雑費、その他	300,000	285,720	ランチョンセミナー昼食費等
事業費			
会誌 作成費(梱包発送含む)	980,000	957,000	カメラデン75号
諸謝金	100,000	10,000	依頼原稿謝礼(カメラデン75号)等
編集委員 旅費、交通費、宿泊費	250,000	131,848	編集委員会(現地開催4回を想定)
学術研修会 講師料	220,000	180,000	講師謝礼
学術研修会 講師交通宿泊費	100,000	0	講師交通費および宿泊費
ホームページ改定費	100,000	70,532	ホームページ管理用
2025年度総会 来賓交通費	50,000	60,000	現地開催予定、来賓交通費
第57回日本医療検査科学会共催費			2025年度は不参加予定
講師謝礼	0	110,000	
講師交通費	0	128,106	
講師宿泊費	0	0	
講師スライド作成費	0	0	
基礎講座 講師料	80,000	60,000	2名×2回を予定
スキルアップセミナー 講師料	40,000	80,000	2名×1回を予定
記念基金積立金	200,000	200,000	50周年基金積立
予備費	168,621	0	
合 計(B)	3,338,621	2,833,609	

私立医科大学臨床検査技師会
会計担当 大澤 健